

# 令和5年度山口支部事業報告について

令和6年7月24日（水）

# 1 . 総括

# 総 括

- 令和5年度山口支部の重要業績評価指標（KPI）について、19項目のうち、10項目を達成、2項目を概ね達成することができた。
- 令和6年度はKPIの見直しが行われるが、達成できなかった7項目については、概ね引き継がれることから、これらの項目についても、引き続き、課題を分析して成果につなげるための施策を講じていきたい。

## 1. 基盤的保険者機能【主な項目】

### ● 業務改革の推進、効果的なレセプト内容点検の推進

- 業務の生産性向上に向けて、標準化された事務処理方法の徹底並びに柔軟な事務処理体制の構築等を進め、業務の標準化・効率化・簡素化を推進した。
- 4つの重点施策（①点検員のスキルアップ ②システム点検の効率化 ③支払基金との連携 ④進捗管理の徹底）で構成するレセプト内容点検効果向上計画に基づき、高点数レセプトを優先的に点検するなど、効果的なレセプト内容点検を推進した。

## 2. 戦略的保険者機能【主な項目】

### ● 特定健診実施率等の向上、特定保健指導の実施率及び質の向上

- 被保険者の生活習慣病予防健診について、受診率が低く健診実施機関の不足が見込まれる岩国地域等を中心に、前年度を上回る102会場で集団健診を開催し、受診機会の拡大を図った。また、経年的未受診事業所及び被保険者への受診勧奨等を実施した結果、生活習慣病予防健診の実施率は61.5%（対前年：+3.5%）となった。
- 被扶養者の特定健康診査について、協会けんぽ主催の集団健診や市町がん検診と特定健診の同時実施等を推進した結果、受診者数は12,332人、受診率は30.0%（対前年：+0.8%）となった。特定保健指導においては、健診当日の初回面談の推進や、支部保健指導者及び健診（指導）機関等による利用勧奨により、実施率は19.2%（対前年：+1.5%）となった。

### ● コラボヘルスの推進（健康経営）

- 事業主に職場の健康づくりに取り組むことを宣言していただく健康宣言事業を推進し、健康宣言事業所数は1,218社（対前年度：+124社）となった。
- 健康宣言事業所及び勧奨を行った事業所（2,560社）に健診結果を踏まえた企業健康カルテ等を提供し、事業所特有の健康課題の把握や職場における役職員の健康づくりに活用していただくことで、ヘルスリテラシーの向上を図った。

# 令和 5 年度山口支部のKPI一覧表

| 具体的な施策                            | 令和5年度 山口支部 K P I                                                                                 | 山口 (R5実績) | 全国 (R5実績) | 山口 (R4実績) |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 基盤的保険者機能関係                        |                                                                                                  |           |           |           |
| サービス水準の向上                         | ① サービススタンダードの達成状況を <b>100%</b> とする                                                               | ○ 100%    | △ 99.9%   | ○ 100%    |
|                                   | ② 現金給付等の申請に係る郵送化率を <b>96.0%以上</b> とする                                                            | △ 93.5%   | △ 95.6%   | △ 94.3%   |
| 柔道整復施術療養費の照会業務の強化                 | 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所 3 部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について <b>対前年度以下</b> とする                          | ○ 1.07%   | ○ 0.83%   | × 1.15%   |
| 効果的なレセプト内容点検の推進                   | ① 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率（※）について <b>対前年度以上</b> とする<br>（※） 査定率＝レセプト点検により査定（減額）した額÷協会けんぽの医療費総額 | ○ 0.346%  | ○ 0.423%  | ○ 0.303%  |
|                                   | ② 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を <b>対前年度以上</b> とする                                                      | × 12,495円 | ○ 8,472円  | ○ 13,677円 |
| 返納金債権発生防止のための保険証回収強化及び債権管理回収業務の推進 | ① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を <b>対前年度以上</b> とする                                              | × 89.60%  | × 82.10%  | × 92.06%  |
|                                   | ② 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を <b>対前年度以上</b> とする                                                 | × 61.09%  | × 53.29%  | ○ 66.79%  |
| 被扶養者資格の再確認の徹底                     | 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を <b>94.0%以上</b> とする                                                     | △ 92.6%   | × 89.1%   | △ 93.2%   |
| 戦略的保険者機能関係                        |                                                                                                  |           |           |           |
| 特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上           | ① 生活習慣病予防健診実施率を <b>59.2%以上</b> とする                                                               | ○ 61.5%   | × 57.7%   | ○ 58.0%   |
|                                   | ② 事業者健診データ取得率を <b>16.3%以上</b> とする                                                                | × 9.3%    | × 7.1%    | × 13.2%   |
|                                   | ③ 被扶養者の特定健診実施率を <b>35.0%以上</b> とする                                                               | × 30.0%   | × 28.3%   | × 29.2%   |
| 特定保健指導の実施率及び質の向上                  | ① 被保険者の特定保健指導の実施率を <b>38.3%以上</b> とする                                                            | × 19.2%   | × 19.8%   | × 17.7%   |
|                                   | ② 被扶養者の特定保健指導の実施率を <b>14.3%以上</b> とする                                                            | ○ 19.3%   | △ 15.6%   | △ 13.2%   |
| 重症化予防対策の推進                        | 受診勧奨後 3 か月以内に医療機関を受診した者の割合を <b>13.1%以上</b> とする                                                   | × 8.2%    | × 9.2%    | × 7.9%    |
| コラボヘルスの推進                         | 健康宣言事業所数を <b>1,100事業所以上</b> とする。                                                                 | ○ 1,218社  | ○ 81,526社 | ○ 1,094社  |
| 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進          | 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を <b>65.0%以上</b> とする                                         | ○ 65.7%   | ○ 52.6%   | ○ 65.2%   |
| ジェネリック医薬品の使用促進                    | ジェネリック医薬品使用割合(※)を年度末時点で <b>前年度以上</b> とする<br>※ 医科、DPC、歯科、調剤                                       | ○ 85.4%   | － 83.6%   | ○ 83.6%   |
| 地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信    | 効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を <b>実施</b> する                  | ○ 実施      | 37支部で実施   | ○ 実施      |
| 組織・運営体制関係                         |                                                                                                  |           |           |           |
| 費用対効果を踏まえたコスト削減等                  | 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について <b>20%以下</b> とする。ただし、入札件数の見込み件数が 4 件以下の場合は一者応札件数を 1 件以下とする。              | ○ 14.3%   | ○ 9.9%    | ○ 10.0%   |

※実績の「○」は達成、「△」は概ね達成、「×」は未達成。

## 2. 基盤的保險者機能關係

## ○ サービス水準の向上

### 令和5年度 山口支部事業計画

#### 具体的 な取組

- ・現金給付の申請受付から支給までの標準期間（サービススタンダード：10日間）の遵守及び正確な審査の実施
- ・加入者・事業主の利便性の向上や負担軽減の観点からの郵送による申請の促進
- ・加入者からの相談・照会に的確に対応できるよう、相談体制（受電体制及び窓口体制）を整備・強化し、お客様満足度の向上
- ・お客様満足度調査結果の活用及びお客様からの意見を反映したサービス水準の向上

#### 【KPI】

- ① サービススタンダードの達成状況を100%とする
- ② 現金給付等の申請に係る郵送化率を96.0%以上とする

※ サービススタンダードとは、健康保険給付金申請書の受付から振込までの日数を10営業日までとすること

＜①サービススタンダード達成率／②郵送化率＞※（ ）内は全国平均

|   | 平成30年度           | 令和元年度            | 令和2年度            | 令和3年度            | 令和4年度            | 令和5年度            |
|---|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| ① | 100%<br>(99.99%) | 100%<br>(99.92%) | 100%<br>(99.52%) | 100%<br>(99.99%) | 100%<br>(99.99%) | 100%<br>(99.99%) |
| ② | 89.6%<br>(89.3%) | 91.9%<br>(91.1%) | 92.8%<br>(94.8%) | 93.3%<br>(95.5%) | 94.3%<br>(95.7%) | 93.5%<br>(95.6%) |

### 令和5年度 取組内容及び評価・課題

#### 【取組内容】

- ・日々の進捗管理の徹底し、月末の申請書所在確認の確実に実施した。
- ・進捗状況に応じて、所要日数等業務の改善を実施した。
- ・電話・窓口対応時に郵送での申請を勧め、郵送化を推進した。
- ・窓口申請が多い申請書について、切手不要の返信用封筒の活用等による郵送化の推進を実施した。
- ・広報誌、メルマガ等で事業主や健康保険委員に対して郵送化やホームページへの誘導を推進するための広報を実施した。

#### 【評価・課題】

- ・日々、朝夕のミーティングを行い、進捗状況を確認し、件数、処理種別に応じて具体的な処理件数の確認を行い効率的な事務処理に努めた。
- ・サービススタンダードの達成状況は100%で遅滞なく進めることができた。
- ・電話、窓口対応時に郵送での申請を勧め、広報誌、メルマガ等で広報したが、郵送化率の向上には至らなかった。
- ・電話対応は、お客様満足度調査結果を活用し、要件の確実な聞き取りによる案内を行うため、用件の復唱及びクロージングの挨拶を徹底した。

### 令和6年度 取組内容

#### 【取組内容】

- ・日々の進捗管理の徹底及び月末の申請書所在確認の確実に実施する。
- ・業務の進捗状況に応じ、件数、確認者の所要時間を踏まえた業務体制等を構築し効率的で遅滞のない処理を実施する。
- ・電話・窓口対応時に郵送での申請を勧めることで郵送化を推進する。
- ・窓口申請が多い申請書について、切手不要の返信用封筒の活用等による郵送化推進の施策を実施する。
- ・広報誌、メルマガ等で事業主や健康保険委員に対して郵送化やホームページへの誘導を推進するための広報を実施する。

#### 【KPI】

- ① サービススタンダードの達成状況を100%とする。
- ② 現金給付等の申請に係る郵送化率を対前年度以上とする。

○ 限度額適用認定証の利用促進

| 令和5年度 山口支部事業計画                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 具体的な取組                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主や健康保険委員に対するチラシやリーフレットによる広報の実施</li> <li>・地域の医療機関や市町窓口に申請書を配置するなどによる利用促進の実施</li> </ul> <p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul> |
| 令和5年度 取組内容及び評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                            | 令和6年度 取組内容                                                                                                                                                                                         |
| <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関及び県内経済団体等に「限度額セット」の設置を依頼した。</li> <li>・広報誌への記事掲載や協会ホームページへ誘導する広報を実施した。</li> </ul> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌への記事掲載や協会ホームページへの掲載を行った。</li> <li>・マイナンバーによるオンライン資格確認が推進され、限度額認定証の交付は減少している。</li> </ul> | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌や協会ホームページを活用して、医療機関及び県内経済団体等にマイナ保険証の利用勧奨を実施する。</li> </ul> <p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>              |

○ 現金給付の適正化の推進

令和5年度 山口支部事業計画

具体的な取組

- ・標準化した業務プロセスを徹底し、審査業務の正確性と迅速性を高める。
- ・不正の疑いのある事案にかかる事業主への立入検査の実施
- ・傷病手当金と障害年金等との併給調整等の確実な実施
- ・柔道整復施術療養費について、多部位（施術箇所が3部位以上）かつ頻回（施術日数が月15日以上）の申請や負傷部位を意図的に変更するいわゆる「部位ころがし」と呼ばれる過剰受診について、加入者に対する文書照会の実施
- ・上記の過剰受診について、施術所に対する文書照会の実施
- ・柔道整復施術療養費審査委員会（柔整審査会）による施術所への指導及び面接確認委員会による申請内容等の確認の徹底
- ・あんまマッサージ指圧・はりきゅう施術療養費について、医師の同意書の確認や長期施術者等に対する文書照会の実施

【KPI】

柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上施術の申請の割合について対前年度以下とする

＜柔整申請書の3部位かつ15日以上割合＞※（ ）内は全国平均

| 平成30年度          | 令和元年度            | 令和2年度            | 令和3年度            | 令和4年度            | 令和5年度            |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 1.29%<br>(1.2%) | 1.09%<br>(1.12%) | 1.49%<br>(1.12%) | 1.16%<br>(0.95%) | 1.15%<br>(0.86%) | 1.07%<br>(0.83%) |

| 令和5年度 取組内容及び評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 令和6年度 取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・業務マニュアルに基づき、正確、迅速な給付を行った。</li><li>・支給決定後の事後調査を行い、不正疑義案件の調査を行った。</li><li>・傷病手当金と障害年金等との併給調整等を確実に行った。</li><li>・3部位10日以上施術に係る患者照会を実施した。</li><li>・審査会での指摘や申請傾向を踏まえ、疑義のある施術所に注意喚起を実施した。</li><li>・適正受診のポスターを作成し、施術所に配付した。</li><li>・面接確認委員会の活用した。</li></ul> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事後調査により、立入検査を要する不正疑義案件は該当はなかった。</li><li>・毎月3部位10日以上施術対象者や長期施術者に対し照会文書と正しい受診の仕方を併せて通知、啓発した。減少にもつながり効果があった。</li><li>・患者照会を通じて、適正受診にかかるリーフレットを受診者へ配布し啓発した。</li><li>・施術所に対しては申請傾向を踏まえ、疑義のある施術内容を改善するよう警告を行った。また、警告文書送付を傾向が改善せず、面接確認委員会開催を見据え警告を継続している。</li></ul> | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・業務マニュアルに基づき、正確、迅速な給付を実施する。</li><li>・不正の疑いのある事案にかかる事後調査、事業主への立入検査を実施する。</li><li>・傷病手当金と障害年金等との併給調整について適正に実施する。</li><li>・3部位10日以上施術に係る患者照会を実施する。</li><li>・審査会での指摘や申請傾向を踏まえ、疑義のある施術所に注意喚起を実施する。</li><li>・適正受診のリーフレットを作成し、受診者に配付する。</li><li>・疑義のある施術所に対して面接確認委員会を活用する。</li></ul> <p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度から柔整に関するKPIはなし</li></ul> |



## 現金給付の決定件数の推移

|                 | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度<br>(令和6年2月末) |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|--------------------|
|                 | 件数      | 件数      | 件数      | 件数      | 件数                 |
| 傷病手当金           | 12,495  | 13,020  | 13,461  | 20,454  | 14,452             |
| 出産手当金           | 1,760   | 1,801   | 1,837   | 1,873   | 1,748              |
| 出産育児一時金         | 3,747   | 3,608   | 3,461   | 3,292   | 2,875              |
| 埋葬料             | 472     | 438     | 465     | 414     | 382                |
| 療養費（食事・生活療養費含む） | 7,544   | 7,038   | 7,763   | 7,494   | 8,074              |
| 柔道整復施術療養費       | 121,474 | 110,294 | 115,419 | 109,762 | 97,910             |
| 高額療養費           | 12,936  | 13,570  | 13,084  | 12,622  | 12,028             |
| 合計              | 160,428 | 149,769 | 155,490 | 155,911 | 137,469            |

○ 効果的なレセプト内容点検の推進

| 令和5年度 山口支部事業計画 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                    |                     |                     |                     |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                     |                     |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 具体的な取組         | <div>1. 資格点検<br/>・資格点検の確実な実施及び資格期間外レセプト等の全件調定</div> <div>2. 外傷点検<br/>・外傷性傷病レセプトの適切な事務処理<br/>・損害賠償請求（求償）にかかる適正な管理及び迅速な事務処理</div> <div>3. 内容点検<br/>・レセプト点検の効果向上に向けた行動計画に基づき、内容点検効果の高いレセプト（高点数レセプト等）を優先的かつ重点的に審査するなど、効果的なレセプト点検を推進するとともに、内容点検の質的向上を図ることによる査定率及び再審査レセプト1件当たり査定額の向上<br/>・審査基準の標準化に向けた社会保険診療報酬支払基金への働きかけ</div>                                                                                                                                                                                                                                       |                    |                    |                     |                     |                     |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                     |                     |
|                | <div>【KPI】</div> <div>①社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率（※）について対前年度以上とする<br/>（※）査定率＝レセプト点検により査定（減額）した額÷協会けんぽの医療費総額</div> <div>②協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                    |                     |                     |                     |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                     |                     |
|                | <div>＜①レセプト査定率／②レセプト1件当たり査定額＞ ※（ ）内は全国平均</div> <table><tr><th></th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr><tr><td>①</td><td>0.228%<br/>(0.383%)</td><td>0.281%<br/>(0.362%)</td><td>0.236%<br/>(0.318%)</td><td>0.268%<br/>(0.332%)</td><td>0.303%<br/>(0.337%)</td><td>0.346%<br/>(0.423%)</td></tr><tr><td>②</td><td>5,951円<br/>(4,138円)</td><td>7,429円<br/>(4,729円)</td><td>9,371円<br/>(5,377円)</td><td>11,520円<br/>(6,330円)</td><td>13,677円<br/>(7,125円)</td><td>12,495円<br/>(8,472円)</td></tr></table> |                    |                    |                     |                     |                     |  | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | ① | 0.228%<br>(0.383%) | 0.281%<br>(0.362%) | 0.236%<br>(0.318%) | 0.268%<br>(0.332%) | 0.303%<br>(0.337%) | 0.346%<br>(0.423%) | ② | 5,951円<br>(4,138円) | 7,429円<br>(4,729円) | 9,371円<br>(5,377円) | 11,520円<br>(6,330円) | 13,677円<br>(7,125円) |
|                | 平成30年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 令和元年度              | 令和2年度              | 令和3年度               | 令和4年度               | 令和5年度               |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                     |                     |
| ①              | 0.228%<br>(0.383%)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 0.281%<br>(0.362%) | 0.236%<br>(0.318%) | 0.268%<br>(0.332%)  | 0.303%<br>(0.337%)  | 0.346%<br>(0.423%)  |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                     |                     |
| ②              | 5,951円<br>(4,138円)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 7,429円<br>(4,729円) | 9,371円<br>(5,377円) | 11,520円<br>(6,330円) | 13,677円<br>(7,125円) | 12,495円<br>(8,472円) |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                     |                     |

| 令和5年度 取組内容及び評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 令和6年度 取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>【取組内容】</div> <div>・PDCAサイクルを確実に回した効果的なレセプト点検を実施した。</div> <div>・基金協議の質の充実を図るとともに、基金1次審査で査定すべき事例の情報共有を行う。</div> <div>・内容点検効果の高いレセプト（入院等の高点数レセプト）の優先的かつ重点的な審査及び点検員のスキルアップを目的とした支部内研修及び勉強会を実施した。</div> <div>【評価・課題】</div> <div>・再審査の結果により判明した支部間差異事例について、支払基金と協議・連携により審査基準の差異解消に努めるとともに審査の精度向上を図った。</div> <div>・令和5年度の査定率は0.346%（対前年度+0.043%）とKPI（0.303%）を達成した。</div> <div>令和4年度：査定点数21,169,832点、請求点数6,976,529,961点</div> <div>令和5年度：査定点数24,272,650点、請求点数7,024,082,398点</div> <div>・1件当たりの査定額においては、前年度を上回ることができなかった。要因としては、査定件数、査定金額ともに前年度を上回ったが、高額査定の件数を延ばすことができなかったことが考えられる。</div> <div>令和4年度：査定件数7,077件、査定金額96,789,860円</div> <div>令和5年度：査定件数10,837件、査定金額135,410,220円</div> <div>・引き続き、他支部の高額査定事例や査定されやすい事例を効果的・効率的に活用するなど査定額の向上に努める。</div> | <div>【取組内容】</div> <div>・社会保険診療報酬支払基金において、審査支払新システム（AI）によるレセプトの振り分けが行われていること等を踏まえつつ、PDCAサイクルを確実に回して、内容点検効果の高いレセプト（目視対象に振り分けられたレセプト、高点数レセプト等）を優先的かつ重点的に審査する。</div> <div>・勉強会や研修等により、点検員のスキルを向上させ、内容点検の更なる質的向上を図る。</div> <div>・基金協議の質の充実を図るとともに、審査基準の差異解消を図る。</div> <div>【KPI】</div> <div>①協会のレセプト点検の査定率（※）について前年度以上とする。</div> <div>（※）査定率＝協会のレセプト点検により査定（減額）した額÷協会の医療費総額</div> <div>②協会の再審査レセプト1件当たりの査定額を前年度以上とする。</div> |

○ 返納金債権発生防止のための保険証回収強化及び債権管理回収業務の推進

| 令和5年度 山口支部事業計画 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                    |                    |                    |                    |                    |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                    |                    |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 具体的な取組         | <ul style="list-style-type: none"><li>・日本年金機構の資格喪失処理後、早期に保険証未回収者に対する返納催告を行うことを徹底するとともに、被保険者証回収不能届を活用した電話催告等を強化</li><li>・未返納の多い事業所データ等を活用し、事業所等へ資格喪失届への保険証添付及び保険証の早期返納の徹底を周知</li><li>・返納金債権の早期回収に取り組むとともに、保険者間調整の積極的な実施及び費用対効果を踏まえた法的手続きの実施による返納金債権の回収率の向上</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |                    |                    |                    |                    |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                    |                    |
|                | 【KPI】<br>①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする<br>②返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |                    |                    |                    |                    |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                    |                    |
|                | <p>＜①保険証回収率／②返納金債権回収率＞※（ ）内は全国平均</p> <table><tr><th></th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr><tr><td>①</td><td>93.38%<br/>(91.57%)</td><td>95.92%<br/>(93.04%)</td><td>95.82%<br/>(92.41%)</td><td>92.80%<br/>(84.11%)</td><td>92.06%<br/>(86.27%)</td><td>89.60%<br/>(82.10%)</td></tr><tr><td>②</td><td>59.04%<br/>(56.16%)</td><td>52.34%<br/>(54.11%)</td><td>60.39%<br/>(53.40%)</td><td>63.15%<br/>(55.48%)</td><td>66.79%<br/>(54.35%)</td><td>61.09%<br/>(53.29%)</td></tr></table> |                    |                    |                    |                    |                    |  | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | ① | 93.38%<br>(91.57%) | 95.92%<br>(93.04%) | 95.82%<br>(92.41%) | 92.80%<br>(84.11%) | 92.06%<br>(86.27%) | 89.60%<br>(82.10%) | ② | 59.04%<br>(56.16%) | 52.34%<br>(54.11%) | 60.39%<br>(53.40%) | 63.15%<br>(55.48%) | 66.79%<br>(54.35%) |
|                | 平成30年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 令和元年度              | 令和2年度              | 令和3年度              | 令和4年度              | 令和5年度              |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                    |                    |
| ①              | 93.38%<br>(91.57%)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 95.92%<br>(93.04%) | 95.82%<br>(92.41%) | 92.80%<br>(84.11%) | 92.06%<br>(86.27%) | 89.60%<br>(82.10%) |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                    |                    |
| ②              | 59.04%<br>(56.16%)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 52.34%<br>(54.11%) | 60.39%<br>(53.40%) | 63.15%<br>(55.48%) | 66.79%<br>(54.35%) | 61.09%<br>(53.29%) |  |        |       |       |       |       |       |   |                    |                    |                    |                    |                    |                    |   |                    |                    |                    |                    |                    |

| 令和5年度 取組内容及び評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 令和6年度 取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資格喪失処理日から10営業日以内の返納催告を徹底した。</li><li>・債権発生防止のため、保険証の未返納者に対して早期の電話催告を実施した。</li><li>・四半期ごとに事業所へ保険証添付の徹底に関する文書を送付した。</li><li>・保険者間調整を推進した。</li><li>・債務者に対する電話催告等を確実に実施した。</li><li>・退職時等の保険証の事業所への返却義務や資格喪失届への保険証添付の必要性等について、広報媒体を活用し加入者及び事業主へ周知徹底を図った。</li><li>・返納金債権の調定後、納付書等の通知を速やかに送付するとともに、費用対効果を踏まえた法的手続きや弁護士による催告を確実に実施した。</li></ul> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・KPI（保険証回収率92.06%、返納金債権回収率66.79%）が未達成となった要因として、保険証回収においては、日本年金機構の電子申請の利用増加により機構からの回収済保険証の回送にかかる日数が増加していることが考えられる。返納金債権回収においては、保険者間調整の利用勧奨は進んでいるものの、債権の回収が年度を繰り越したことが考えられる。<br/>保険者間調整件数：令和4年度271件→令和5年度285件<br/>返納金債権回収金額：令和4年度調定金額36,329,984円、回収金額24,264,389円<br/>令和5年度調定金額34,288,846円、回収金額20,946,398円</li><li>・引き続き事業所や加入者へ保険証の早期返却について周知徹底を図るとともに法的手続きや弁護士名による催告、保険者間調整等の取組を徹底し債権の早期回収に努める。</li></ul> | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資格喪失処理日から10営業日以内の返納催告を徹底する。</li><li>・債権発生防止のため、保険証の未返納者に対して早期の電話催告を実施する。</li><li>・四半期ごとに事業所へ保険証添付の徹底に関する文書を送付する。</li><li>・保険者間調整を推進する。</li><li>・債務者に対する電話催告等を確実に実施する。</li><li>・保険証回収の周知徹底を行う。</li><li>・法的手続きを確実に実施する。</li></ul> <p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く。）の回収率を前年度以上とする。</li><li>②日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の健康保険証回収率を前年度以上とする。<br/>※マイナンバーカードと健康保険証の一体化（健康保険証の廃止）が行われるまでの取組とする。</li></ul> |

○ 被扶養者資格の再確認の徹底

令和5年度 山口支部事業計画

|        |                                                                                                                                  |                            |                  |                  |                  |                  |                  |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 具体的な取組 | <ul style="list-style-type: none"><li>・未提出事業所への勧奨による回答率の向上</li><li>・未送達事業所の調査による送達の徹底</li><li>・マイナンバーを活用した被扶養者資格再確認の実施</li></ul> |                            |                  |                  |                  |                  |                  |
|        | 【KPI】<br>被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を94.0%以上とする                                                                                     | ＜被扶養者資格確認書の提出率＞ ※（ ）内は全国平均 |                  |                  |                  |                  |                  |
|        |                                                                                                                                  | 平成30年度                     | 令和元年度            | 令和2年度            | 令和3年度            | 令和4年度            | 令和5年度            |
|        |                                                                                                                                  | 90.2%<br>(88.0%)           | 95.2%<br>(91.4%) | 93.1%<br>(91.3%) | 93.2%<br>(91.3%) | 93.2%<br>(92.3%) | 92.6%<br>(89.1%) |

| 令和5年度 取組内容及び評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 令和6年度 取組内容                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マイナンバーの活用及び日本年金機構との連携により再確認業務を実施し、被扶養者資格を有しない者の無資格受診の防止を図る。</li><li>・本部が実施する一括勧奨に加え、支部独自の文書勧奨を実施する。</li></ul> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マイナンバーの活用及び日本年金機構との連携により再確認業務を実施し、被扶養者資格を有しない者の削除が実施できた。</li><li>・被扶養者資格確認書の提出促進について、本部勧奨のあと、支部独自勧奨（届書添付）を行ったが、提出率は昨年を下回った。</li><li>・全体の対象者数に対する提出数（確認率）は、昨年より1.6%向上しており、再確認業務としては昨年度を上回る被扶養者の確認ができた。</li><li>・本部勧奨が圧着ハガキのみで行われたことや、小規模事業所の提出が伸びなかったこと等が全体の提出率に影響しており、催告時期、手法の検討が必要。</li></ul> | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マイナンバーを活用した効率的な再確認業務を実施する。</li><li>・勧奨時期、事業所規模等検討したうえで、未提出事業所への支部独自の提出勧奨を実施する。</li></ul> <p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度から被扶養者資格再確認に関するKPIはなし</li></ul> |

### 3. 戰略的保險者機能關係

## ○ 保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

### 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）（令和5年度）

#### 具体的 な取組

- ・PDCAサイクルに沿った効率的かつ重点的な事業の推進
- 上位目標：高血圧性疾患の外来受診率を全国平均までに減少させる
- 中位目標：山口支部の血圧リスク保有率を平成28年度平均まで減少させる
- 下位目標：①令和5年度の特定健診受診率を67.0%以上にする
  - ：②令和5年度の特定保健指導実施率を37.0%にする
  - ：③受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を13.1%以上とする
  - ：④糖尿病性腎症による人工透析移行者を減少させる
  - ：⑤健康宣言事業所を毎年200社増やすとともに宣言企業における健診、特定保健指導等の指標を向上させる。

### 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画） 令和5年度 取組内容及び評価・課題

#### 【取組状況】

- ・第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の上位目標及び中位目標を達成するためには、下位目標の①～⑤（前述の保健事業に関する取組）を実施し推進することで、中位目標及び上位目標の達成が図れることから、当該項目における取組状況等については、次ページ以降に掲載。

#### <山口支部の現状と課題>

- ・血圧リスク保有率では経年的に男女ともにすべての年代において全国平均を上回る。

| 性別 | 支部名 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 |
|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 男性 | 山口  | 29.3%  | 36.1%  | 46.0%  | 54.4%  | 63.8%  | 71.4%  | 75.1%  | 80.1%  |
|    | 全国  | 27.2%  | 33.8%  | 43.7%  | 53.0%  | 62.1%  | 69.6%  | 74.0%  | 78.2%  |
| 女性 | 山口  | 13.4%  | 18.3%  | 27.1%  | 37.1%  | 45.7%  | 51.7%  | 64.2%  | 71.0%  |
|    | 全国  | 11.6%  | 16.4%  | 24.5%  | 33.7%  | 40.9%  | 49.7%  | 59.8%  | 70.1%  |

- ・血圧リスク保有率の二次医療圏別比較では、男性は岩国圏、萩圏、女性は柳井圏、長門圏が比較的高く、すべての医療圏において全国平均より高い傾向にある。

### 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画） 令和6年度 取組内容

#### 【6年後に達成する目標】

高血圧（収縮期血圧）の平均値を3mmHg減少させる  
（令和4年度127mmHg→令和11年度124mmHg）

- ・高血圧リスクに対する意識の啓発を図るため、健診案内送付時等に併せた高血圧に関する情報の周知を実施する。
- ・血圧リスク保有率の高い地域の加入者を中心に、対象市町と連携し特定健診受診勧奨と併せた広報を実施する。
- ・血圧の検査数値が高い特定保健指導実施者への健康情報資材の配付を積極的・継続的に行うとともに、家庭血圧測定習慣を促し、加入者個人の高血圧リスクに対する知識向上を図る。



# ○ 被保険者の健診の実施率向上＜生活習慣病予防健診と事業者健診結果取得＞

## 令和5年度 山口支部事業計画

### 具体的な取組

- (1) 健診受診機会の拡大
  - ・生活習慣病予防健診実施機関の不足地域における集団健診の実施及び新規受託機関の確保
- (2) 健診の受診勧奨対策
  - ・新規対象者への受診案内及び勧奨の実施
  - ・支部、生活習慣病予防健診実施機関による生活習慣病予防健診の受診勧奨
  - ・行政機関等関係団体との連携による事業者健診データ提供依頼

### 【KPI】

- ① 生活習慣病予防健診実施率を59.2%以上とする
- ② 事業者健診データ取得率を16.3%以上とする

＜①生活習慣病予防健診実施率／②事業者健診データ取得率＞※（ ）内は全国平均

|   | 平成30年度                      | 令和元年度                       | 令和2年度                       | 令和3年度                       | 令和4年度                        | 令和5年度                        |
|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ① | 50.3%<br>(50.9%)<br>87,401人 | 51.9%<br>(52.3%)<br>91,623人 | 52.6%<br>(51.0%)<br>93,342人 | 55.5%<br>(53.6%)<br>99,145人 | 58.0%<br>(57.0%)<br>101,585人 | 61.5%<br>(57.7%)<br>108,025人 |
| ② | 9.5%<br>(7.1%)<br>16,458人   | 11.2%<br>(7.6%)<br>19,713人  | 14.7%<br>(8.0%)<br>26,040人  | 13.4%<br>(8.5%)<br>23,913人  | 13.2%<br>(8.4%)<br>23,113人   | 9.3%<br>(7.1%)<br>16,436人    |

## 令和5年度 取組内容及び評価・課題

### 【取組内容】

- ・生活習慣病予防健診実施機関の不足地域における集団健診の実施及び新規受託機関を確保した。
- ・支部、生活習慣病予防健診実施機関による生活習慣病予防健診の受診勧奨を実施した。
  - ①新規適用事業所（任継加入者含む）への健診受診案内
  - ②経年未受診中小事業所及びその事業所に所属する被保険者への勧奨
- ・事業者健診結果データの提供依頼について、健診実施機関に対し受診予定月に応じた提出勧奨を実施した。
- ・行政機関等関係団体との連携による事業者健診結果データ提供依頼について、県、労働局、協会けんぽの三者連名通知での文書勧奨及び電話勧奨を実施した。

### 【評価・課題】

生活習慣病予防健診については、前年度より受診率ベースで3.5%ポイント、受診者ベースで6,440名増加し、KPIを達成している。

事業者健診については、事業者健診から生活習慣病健診への移行及び適用拡大による共済組合への移行に伴うデータ取得件数の減少により、KPIは達成できなかったが、これらの要因を除くと前年度と同等の件数を取得できている。

更なる実施率の向上を図るためには、生活習慣病予防健診や事業者健診データの取得などの制度を周知することに加えて、生活習慣病予防健診の契約機関数や契約している健診機関の受入件数の上限が不足しているなど、ハード面の問題がある。

## 令和6年度 取組内容

### 【取組内容】

- ・生活習慣病予防健診実施機関の不足地域における集団健診の実施拡大及び新規受託機関の確保を行う。
- ・支部、生活習慣病予防健診実施機関による生活習慣病予防健診の受診勧奨を実施する。
  - ①新規適用事業所（任継加入者含む）への健診受診案内  
新適用事業所（被保険者10名以上）に対しては別途電話勧奨（新）
  - ②経年未受診中小事業所及びその事業所に所属する被保険者への勧奨
  - ③経年未受診者に対する付加健診対象年齢拡大を契機とする受診勧奨（新）
- ・事業者健診結果データの提供依頼について、健診実施機関に対し受診予定月に応じた提出勧奨を実施する。
- ・行政機関等関係団体との連携による事業者健診結果データ提供依頼について、県、労働局、協会けんぽの三者連名通知での文書勧奨及び電話勧奨を実施する。

### 【KPI】

- ①生活習慣病予防健診実施率を58.0%以上とする。  
⇒ 令和6年度KPIから算出方法に変更有り。詳細は次ページを参照。
- ②事業者健診データ取得率を13.6%以上とする。

参考資料

○支部KPIの見直しに伴う、令和6年度以降の設定方法は以下のとおりです。

(見直し前)の支部KPIの設定方法

健診の支部KPIの設定方法

(被保険者)

$$\frac{\text{自支部が契約する健診機関で生活習慣病予防健診を受診した者の数} + \text{自支部で事業者健診データを取得した者の数}}{\text{自支部被保険者のうち特定健診対象者数 (年度末時点)}} \times 100\%$$

(見直し後)の支部KPIの設定方法

健診の支部KPIの設定方法

(被保険者)

R6年度から見直し

$$\frac{\text{自支部被保険者のうち生活習慣病予防健診を受診した者の数} + \text{自支部被保険者のうち事業者健診データを取得した者の数}}{\text{自支部被保険者のうち特定健診対象者数 (年度末時点)}} \times 100\%$$

過去3年の中国地方における新KPI・旧KPIの比較

|                | 2021年 (R3年) |        |        | 2022年 (R4年) |        |        | 2023年 (R5年) |        |        |
|----------------|-------------|--------|--------|-------------|--------|--------|-------------|--------|--------|
|                | 新KPI実績      | 旧KPI実績 | 新旧差    | 新KPI実績      | 旧KPI実績 | 新旧差    | 新KPI実績      | 旧KPI実績 | 新旧差    |
| 鳥取支部           | 52.9%       | 58.0%  | -5.1%  | 57.1%       | 63.3%  | -6.2%  | 59.0%       | 65.3%  | -6.3%  |
| 島根支部           | 63.4%       | 65.7%  | -2.4%  | 67.8%       | 70.9%  | -3.1%  | 68.8%       | 71.9%  | -3.0%  |
| 岡山支部           | 55.7%       | 57.7%  | -2.0%  | 58.9%       | 60.9%  | -2.0%  | 60.2%       | 62.3%  | -2.1%  |
| 広島支部           | 55.9%       | 54.1%  | 1.8%   | 58.9%       | 57.1%  | 1.9%   | 60.2%       | 58.1%  | 2.2%   |
| 山口支部           | 49.5%       | 55.5%  | -6.0%  | 52.0%       | 58.0%  | -6.0%  | 54.7%       | 61.5%  | -6.7%  |
| (参考：新旧差が大きい支部) |             |        |        |             |        |        |             |        |        |
| 東京支部           | 53.2%       | 38.5%  | 14.7%  | 54.9%       | 39.3%  | 15.7%  | 56.8%       | 40.4%  | 16.4%  |
| 千葉支部           | 46.7%       | 58.7%  | -12.0% | 49.8%       | 62.9%  | -13.1% | 50.3%       | 63.9%  | -13.7% |



○ 被扶養者の健診実施率の向上＜特定健診＞

令和5年度 山口支部事業計画

具体的な取組

(1) 健診受診機会の拡大

＜被扶養者＞

・県内全域において商業施設等で協会けんぽ主催の集団健診を実施（追加オプション検査及び血管年齢等のオプションの実施）

・市町がん検診と特定健診の同時実施の推進

(2) 健診の受診勧奨対策

・新規対象者への受診案内及び勧奨の実施

・GISを活用した経年未受診者への受診勧奨

【KPI】

・被扶養者の特定健診実施率を35.0%以上とする

＜被扶養者の特定健診実施率＞※（ ）内は全国平均

| 平成30年度                      | 令和元年度                       | 令和2年度                       | 令和3年度                       | 令和4年度                       | 令和5年度                       |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 23.6%<br>(24.4%)<br>11,589人 | 24.4%<br>(25.5%)<br>11,829人 | 23.3%<br>(21.3%)<br>11,011人 | 27.1%<br>(26.2%)<br>12,413人 | 29.2%<br>(25.7%)<br>12,584人 | 30.0%<br>(28.3%)<br>12,312人 |

| 令和5年度 取組内容及び評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 令和6年度 取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・県内全域において商業施設等で集団健診を実施した。（6月～3月）</li><li>・市町がん検診と特定健診の同時実施を推進した。（前年比3会場増の94会場）</li><li>・健診機関施設での無料オプション付き健診キャンペーンを実施した。</li><li>・新規対象者への受診案内及び勧奨を実施した。</li><li>・GIS（※）を活用した特定健診経年未受診者への受診勧奨を実施した。（居住地付近で受診できる健診実施機関を案内し受診機会の拡大）（新）</li></ul> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・集団健診（商業施設等での実施及び市町のがん検診同時実施）の実施者数は6,776人。年間の実施者数の約半数強が集団健診で実施しており、加入者のニーズが大きいと思われることから、令和6年度についても、更なる集団健診の拡大を図っていきたい。</li><li>・健診機関施設での無料オプション付き健診キャンペーンの実施機関においては、キャンペーン実施前の前年度と比較し、受診者数は約1.5～2.5倍増加しており一定の効果が確認できた。令和6年度は実施機関数をどのように拡大していくかが課題。</li><li>・GIS（※）を活用した特定健診経年未受診者への受診勧奨については、案内を送付した対象者（9,404件）のうち、5.2%の491名が受診。効果検証を行い、令和6年度の実施方法等に反映させていく予定。</li></ul> <p>※GIS：地理情報システムを活用し、拠点からの任意の距離等を設定することで、拠点から指定した範囲内に居住している対象者を抽出することができる。</p> | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・県内全域において商業施設等で集団健診を実施する。（6月～3月）</li><li>・市町がん検診と特定健診の同時実施を推進する。（会場数の増加や利便性の高い会場での実施などの実施拡大を市町に依頼）</li><li>・健診機関施設での無料オプション付き健診キャンペーンを公募とすることにより実施機関数を拡大する。</li><li>・GISを活用し、居住地付近で受診できる健診実施機関を案内することによる特定健診経年未受診者への受診勧奨を実施する。</li></ul> <p>【KPI】</p> <p>被扶養者の特定健診実施率を32.4%以上とする。</p> |

## 参考：GISを活用した特定健診経年未受診者への受診勧奨

協会けんぽでは、  
40歳以上の被扶養者の方を対象に**特定健診**を実施しており、  
年に一度の受診に限り、**健診費用を補助**しています。

協会けんぽから  
**健診費用の“補助”を受けることができます！**

**特定健診とは…？**

生活習慣病の予防と早期発見を目的とした健康診断です。  
山口県内では約700の医療機関で受診することができ、  
健診費用の総額は約8,000円ですが、協会けんぽが費用  
補助することで、最高で**“1,447円”**で受診できます。  
（**“無料”**で受診できる健診機関もあります）

**● 特定健診（基本的な健診）**

| 検査項目    | 内容                 |
|---------|--------------------|
| 問診、診察など | 視診、触診など、生活習慣を伺います  |
| 身体計測    | 身長、体重、腹囲を測ります      |
| 血圧測定    | 血圧を測り、循環器系の状態を調べます |
| 脂質検査    | 動脈硬化や脂質異常等を調べます    |
| 肝臓検査    | 肝臓等の状態を調べます        |
| 血液検査    | 糖尿病等を調べます          |
| 血糖検査    | 糖尿病等を調べます          |
| 尿検査     | 腎臓、尿路の状態や糖尿病等を調べます |

年に一度の健診で  
ご自身の健康状態を  
正しく把握することが  
重要ですよ！ **よくある特定健診Q&A**

**Q1** 定期的に通院（検査）しているため、受診しなくても大丈夫？  
**A1** 治療のための検査と健診の検査とは目的が異なります。  
治療のための検査では、生活習慣病の予防と早期発見のためには十分とは言えませんが、通院先の医師（かかりつけ医）と相談のうえ、特定健診を受診してください。

**Q2** 忙しくて健診を受ける時間がありません。  
異音が悪くなったら医療機関を受診すればいいのでは？  
**A2** 生活習慣病は、早期には自覚症状がなく気がつかないうちに進行していく病気です。そのため、症状が出てからでは重症化が進み健康な状態に戻ることができない場合があります。定期的に（年に一度）健診を受け、ご自身の体の状態を続けて確認することで変化に気づくことができます。  
また、病気が重症化すると、治療のために健診とは比較できないほど多くの時間と費用を要することとなります。

**Q3** 健康だから健診を受けなくてもいいのでは？  
やせている（メタボでない）から病気の心配はないのでは？  
**A3** 初期の生活習慣病は、ほとんどの場合、自覚症状がありません。健診を受け、自覚症状のない少しの変化に気づくことで病気の重症化を防ぐことができます。  
また、特定健診はメタボ（メタボリックシンドローム）に着目した健診ですが、メタボだけでなく様々な病気の兆候を見つけるきっかけになります。

**受診方法**

特定健診検査受診券（以下、「受診券」）は、お手元にありますか？

受診券を再発行しますので、「受診券申請書」を協会けんぽ山口支部に郵送してください。  
後日、ご自宅へ受診券をお送りします。

受診券申請書

受診券

受診券申請書の送付先  
〒754-8522 山口県小郡下郷312番地2 山本ビル3階  
協会けんぽ山口支部 保健グループあて  
「受診券申請書」の送付をご希望の方は、  
協会けんぽ山口支部（☎083-974-1501）にお問い合わせください。

定期的に通院している（検査を受けている）医療機関はありますか？

通院している（検査を受けている）医療機関の医師（かかりつけ医）に相談のうえ、保険証と受診券を持参して**特定健診を受診**してください。

お住まいの最寄りの健診機関は以下のとおりです。  
健診機関にお電話でご予約のうえ、保険証と受診券を持参して**特定健診を受診**してください。

**1 特定健診を“無料”で受診できる健診機関**（印は、がん検診も受診できます）

| 健診機関名（住所） | 電話番号 | 胃  | 大腸  | 肺 | 子宮 |
|-----------|------|----|-----|---|----|
|           |      | X線 | 内視鏡 |   |    |

**2 特定健診を〇〇円で受診できる健診機関**（印は、がん検診も受診できます）

| 健診機関名（住所） | 電話番号 | 胃  | 大腸  | 肺 | 子宮 | 乳 |
|-----------|------|----|-----|---|----|---|
|           |      | X線 | 内視鏡 |   |    |   |

● 特定健診は、上記①、②以外の健診機関でも受診することができます。また、公共施設などを利用した**集団健診**で受診することもできます。詳しくは、協会けんぽ山口支部ホームページをご覧ください。  
● がん検診の費用などの詳細については、お住まいの自治体の広報誌や、ホームページなどでご確認ください。

特定健診実施機関一覧

集団健診のお知らせ

受診者の住所から  
最寄りの健診機関  
をご提案  
①無料で受診できる健診機関  
②有料で受診できる健診機関

○ 特定保健指導の実施率及び質の向上

令和5年度 山口支部事業計画

具体的な取組

- (1) 指導機会の拡充
- ・健診受診者の利便性を考慮し、生活習慣病予防健診当日の特定保健指導の実施拡大
  - ・保健指導専門機関による特定保健指導（被保険者）の実施拡大
- (2) 保健指導の受診勧奨対策
- ・支部、健診（指導）機関及び保健指導専門機関による加入者・事業所への利用勧奨（初回面談件数の増加）
  - ・特定保健指導の経年的未利用事業所への効率的・効果的な利用勧奨
  - ・協会けんぽ主催の被扶養者の集団健診当日における特定保健指導利用勧奨
- (3) 保健指導者の質の向上及び保健活動の推進
- ・関係団体等との共催による研修及び保健指導委託機関との研修による指導・面接技術の共有
  - ・健康宣言事業所のフォローアップ等、事業所支援を拡充するための保健活動を推進

【KPI】

- ①被保険者の特定保健指導の実施率を38.3%以上とする  
②被扶養者の特定保健指導の実施率を14.3%以上とする

<①被保険者の特定保健指導実施率／②被扶養者の特定保健指導実施率>

※（ ）内は全国平均

|   | 平成30年度                     | 令和元年度                      | 令和2年度                      | 令和3年度                      | 令和4年度                      | 令和5年度                      |
|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ① | 23.0%<br>(16.6%)<br>4,694人 | 19.9%<br>(18.0%)<br>4,292人 | 16.9%<br>(15.5%)<br>3,686人 | 19.0%<br>(18.2%)<br>4,440人 | 17.7%<br>(18.2%)<br>4,045人 | 19.2%<br>(19.8%)<br>4,242人 |
| ② | 7.7%<br>(5.4%)<br>72人      | 14.3%<br>(11.8%)<br>143人   | 11.4%<br>(13.1%)<br>114人   | 10.2%<br>(12.8%)<br>113人   | 13.2%<br>(15.5%)<br>144人   | 19.3%<br>(15.6%)<br>206人   |

令和5年度 取組内容及び評価・課題

【取組内容】

- ・健診（指導）機関による健診当日の特定保健指導を拡大した。
- ・保健指導専門機関による特定保健指導を拡大した。
- ・支部保健指導者による経年的未利用事業所等への効率的、効果的な利用勧奨を実施した。
- ・健診（指導）機関及び保健指導専門機関による加入者・事業所への利用勧奨を実施した。
- ・被扶養者の集団健診当日における特定保健指導の利用勧奨を実施した。
- ・支部保健指導者研修会において、対象者に行動変容を促す面談スキルについて、外部講師の講話を受講し、面談スキルの向上を図った。
- ・健康宣言事業所のフォローアップ等、事業所支援を拡充するための保健活動を推進した。

【評価・課題】

- ・健診当日に特定保健指導ができる体制が構築できた健診（指導）機関においては、初回面談件数が増加した一方で、病院併設型の健診機関の多くはマンパワーの不足により体制が構築できていない。
- ・被保険者について、支部保健指導者による初回面談件数は増加したものの、KPIの達成には届いていない。更なる初回面談件数の拡大を図るためには、支部保健指導者が健康宣言事業所の支援を行うことで、事業所との関係を深め、更なる初回面談件数の増加を図っていきたい。

令和6年度 取組内容

【取組内容】

- ・健診（指導）機関による健診当日の特定保健指導を拡大する。
- ・保健指導専門機関による特定保健指導を拡大する。
- ・特定保健指導対象者への案内率向上及び利用勧奨強化による初回面談件数の拡大する。
- ・産業医選任義務のない50人未満事業所に対し、健康宣言の支援を行い関係を深めることで、更なる初回面談件数の増加を図る。
- ・被扶養者の集団健診当日における特定保健指導を実施する。
- ・前年度保健指導該当者への健診前通知によるメタボ回避のための行動変容の推進する。（新）

【KPI】

- ①被保険者の特定保健指導実施率を20.7%以上とする。  
②被扶養者の特定保健指導実施率を14.3%以上とする。



前年度特定保健指導該当者に対して、次年度健診3か月前にハガキによる通知介入を行い、健診予定日までに自発的なメタボ回避のための行動変容（生活習慣の改善）を促し、特定保健指導該当者の減少を図る。

腹囲を基本  
(1cm $\div$ 1kg)に  
1kg $\sim$ 3kgまでの  
数字を入れる

今年度の健診結果に変化がなかった場合、特定保健指導の対象となり、協会けんぽから事業所に保健指導(無料)のご案内が届く場合があります。

あと **kg** の減量で

(腹圍-約      cm減少)      1 cm  $\div$  1 kg

**メタボから  
脱出  
できます。**

## メタボリックシンドローム

腹围·体重

|           |    |
|-----------|----|
| おへそ<br>回り | cm |
| 体重        | kg |

基準：男性 85cm以下  
女性 90cm以下

脂質異常症、脂肪肝  
甲状腺機能低下症、動脈硬化

## 血中脂質

|          |       |
|----------|-------|
| 中性<br>脂肪 | mg/dl |
| HDL-C    | mg/dl |

基準：中性脂肪150mg/dl未満  
HDL-C40mg/dl以上

高血圧症、動脈硬化

血压

|     |     |
|-----|-----|
| 收縮期 | mHg |
| 擴張期 | mHg |

基準：収縮期血圧130mmHg未満  
拡張期血圧85mmHg未満

糖尿病、慢性すい炎  
糖尿病性腎症、網膜症

血糖

|           |       |
|-----------|-------|
| 空腹時<br>血糖 | mg/dl |
| HbA1c     | %     |

基準：空腹時血糖100mg/dl未満  
HbA1c5.6%未満

短期間で  
効果が出る

## 減量のヒント

まずは、体重計を用意して毎日の体重を測定しましょう。

医療専門職の監督下以外での、糖質制限や過度なダイエットは避けましょう。

☐ **健康コラムをご覧になりたい方はこちら**

☐ **健診前の電話によるサポートを受けたい方はこちら**

(平日9:00~17:00)

「電話相談希望」とお申し出ください。

ワンポイント  
アドバイス

前年度健診結果の  
数値をお知らせ

# 保健事業の概況

|      |               | 令和2年度実績 |       | 令和3年度実績 |       | 令和4年度実績 |       | 令和5年度実績 |       | 令和5年度計画 |       |
|------|---------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
|      |               | 実施件数    | 実施率   | 実施件数    | 実施率   | 実施件数    | 実施率   | 実施件数    | 実施率   | 実施件数    | 実施率   |
| 健診   | 【被保険者】健診対象    | 177,445 | －     | 178,703 | －     | 175,128 | －     | 175,789 | －     | 173,731 | －     |
|      | 生活習慣病予防健診     | 93,342  | 52.6% | 99,145  | 55.5% | 101,585 | 58.0% | 108,025 | 61.5% | 102,913 | 59.2% |
|      | 事業者健診         | 26,040  | 14.7% | 23,913  | 13.4% | 23,113  | 13.2% | 16,436  | 9.3%  | 28,319  | 16.3% |
|      | 計             | 119,382 | 67.3% | 123,058 | 68.9% | 124,698 | 71.2% | 124,461 | 70.8% | 131,232 | 75.5% |
|      | 【被扶養者】健診対象者   | 47,227  | －     | 45,853  | －     | 43,080  | －     | 41,102  | －     | 43,007  | －     |
|      | 特定健診          | 11,011  | 23.3% | 12,413  | 27.1% | 12,584  | 29.2% | 12,312  | 30.0% | 16,224  | 35.0% |
|      | 健診対象者 計       | 224,672 | －     | 224,556 | －     | 218,208 | －     | 216,891 | －     | 216,738 | －     |
|      | 健診受診者 計       | 130,393 | 58.0% | 135,471 | 60.3% | 137,282 | 62.9% | 136,773 | 63.1% | 147,456 | 68.0% |
| 保健指導 | 【被保険者】保健指導対象者 | 21,791  | －     | 23,329  | －     | 22,740  | －     | 22,064  | －     | 26,771  | －     |
|      | 協会（内部）実施      | 2,467   | 11.3% | 2,873   | 12.3% | 2,758   | 12.1% | 2,867   | 13.0% | 5,000   | 18.7% |
|      | 委託（外部）実施      | 1,219   | 5.6%  | 1,567   | 6.7%  | 1,293   | 5.7%  | 1,375   | 6.2%  | 5,253   | 19.6% |
|      | 計             | 3,686   | 16.9% | 4,440   | 19.0% | 4,051   | 17.7% | 4,242   | 19.2% | 10,253  | 38.3% |
|      | 【被扶養者】保健指導対象者 | 1,000   | －     | 1,113   | －     | 1,089   | －     | 1,066   | －     | 1,525   | －     |
|      | 協会（内部）実施      | 0       | 0.0   | 0       | 0.0   | 0       | 0.0   | 1       | 0.1%  | 0       | 0.0   |
|      | 委託（外部）実施      | 114     | 11.4% | 113     | 10.2% | 144     | 13.2% | 205     | 19.2% | 218     | 14.3% |
|      | 計             | 114     | 11.4% | 113     | 10.2% | 144     | 13.2% | 206     | 19.3% | 218     | 14.3% |
|      | 指導対象者 計       | 22,791  | －     | 24,442  | －     | 23,829  | －     | 23,130  | －     | 28,296  | －     |
|      | 指導実施者 計       | 3,800   | 16.7% | 4,553   | 18.6% | 4,189   | 17.6% | 4,448   | 19.2% | 10,470  | 37.0% |

○ 重症化予防対策の推進

令和5年度 山口支部事業計画

具体的な取組

(1) 未治療者に対する受診勧奨における二次勧奨

・文書による未治療者に対する受診勧奨を実施

・健診実施機関による要治療者への受診勧奨を実施

・事業主による要治療者への受診勧奨を実施（労働局との連名通知で事業主へ依頼）

(2) 糖尿病性腎症に係る重症化予防事業

・「山口支部糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、かかりつけ医及び自治体等関係機関と連携した重症化予防事業の推進

【KPI】

受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を13.1%以上とする

<受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合> ※（ ）内は全国平均

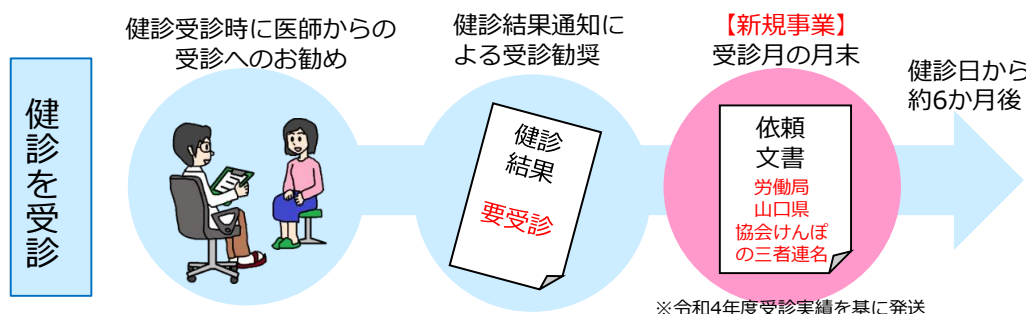
| 平成30年度         | 令和元年度           | 令和2年度           | 令和3年度           | 令和4年度          | 令和5年度          |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|
| 9.0%<br>(9.6%) | 9.0%<br>(10.5%) | 9.6%<br>(10.1%) | 8.3%<br>(10.5%) | 7.9%<br>(9.9%) | 8.2%<br>(9.2%) |

| 令和5年度 取組内容及び評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和6年度 取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【取組内容】</p> <p>◎未治療者に対する受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文書による未治療者に対する受診勧奨を実施した。</li><li>・健診実施機関による要治療者への受診勧奨を実施した。</li><li>・事業主による要治療者への受診勧奨を実施した。（山口県、労働局との連名通知で事業所へ依頼）（新）</li></ul> <p>◎糖尿病性腎症に係る重症化予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「山口支部糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、かかりつけ医及び自治体等関係機関と連携した重症化予防事業を推進した。</li></ul> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・対象者本人の自宅へ訴求力のあるリーフレットを送付し、更に事業主には前年度健診受診月に受診勧奨の文書を送付し、受診率向上につながった。</li><li>・より多くの加入者の重症化を予防する観点から、令和6年10月（令和6年4月健診受診者）より特定健診を受診した被扶養者や事業者健診データを取得した者を受診勧奨の対象者に追加する。支部において二次勧奨の着実な実施に加え勧奨対象者の拡大について周知広報を実施していく必要がある。</li></ul> | <p>【取組内容】</p> <p>◎未治療者に対する受診勧奨の実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文書による未治療者に対する受診勧奨を実施する。</li><li>・健診実施機関による要治療者への受診勧奨を実施する。</li><li>・事業主による要治療者への受診勧奨を実施する。（山口県、労働局との連名通知で事業所へ依頼）</li><li>・対象者の拡大（被扶養者特定健診等）への対応する。（新）</li></ul> <p>◎糖尿病性腎症に係る重症化予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「山口支部糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、糖尿病未治療者・治療中断者への受診勧奨を強化する。</li></ul> <p>【KPI】</p> <p>健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合を対前年度以上とする。</p> |

## 参考：健診結果から医療機関への受診が必要な方への取組

- 協会けんぽでは、重症化を予防するため、生活習慣病予防健診の結果から、医療機関への受診が必要な方に対して、以下の取組を実施している。
- 令和5年度は新たに医療機関への受診が必要な方がいる場合は、その方へ医療機関へ受診いただくよう、**事業主及び担当者の皆さまから働きかけをお願いする依頼文書**を送付し重症化の予防に取り組んだ。

### 医療機関への受診をお勧めする取組



※令和4年度受診実績を基に発送

### 医療機関への受診が必要な数値（参考）

#### 血圧

収縮期血圧値 **160 mmHg** 以上  
または  
拡張期血圧値 **100 mmHg** 以上

#### 血糖

空腹時血糖値 **126 mg/dL** 以上  
または  
HbA1c **6.5 %** 以上

#### New 脂質

令和4年10月から開始！

LDLコレステロール値 **180 mg/dL** 以上

悪玉コレステロールとも呼ばれ、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる危険性があります。

### 医療機関へ受診していない方へのお知らせ

※ 健診月の前月から健診受診後3か月以内に医療機関を受診した人を除く。

- ① 医療機関への受診が必要と思われる数値の方へ送付  
<はがき>
- ② 左記のうち、よりハイレスクな方へ送付  
<リーフレット>



参考：令和3年度の医療機関受診状況＜全国＞（令和3年度事業報告書（協会けんぽ2021）より）

|                                     | 医療機関未受診者 | 未受診者/受診勧奨域 |
|-------------------------------------|----------|------------|
| 生活習慣病予防健診：約956万人受診<br>受診勧奨対象域：約89万人 | —        | —          |
| 医療機関未受診者（健診受診から6か月後）                | 約41万人    | 約46%       |
| 医療機関未受診者（受診から9か月後）                  | 約36万人    | 約41%       |
| 医療機関未受診者（受診から12か月後）                 | 約34万人    | 約38%       |



# 参考：事業主による要治療者への受診勧奨（山口県、労働局との連名通知で事業所へ依頼）

## ▶ 送付書（山口県、労働局との連名）

事業主各位

連名

全国健康保険協会山口支部長  
山口労働局労働基準部健康安全課長  
山口県健康福祉部健康増進課長

健康診断後の医療機関への受診が必要な方に対する働きかけのお願い

拝啓 貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。平素より、健康増進事業の運営につきまして、格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国健康保険協会、山口労働局、及び山口県においては、皆さまの健康維持・増進を図るため、健康診断を推進することで、健康寿命の延伸に取り組んでいるところです。

ご承知のとおり、健康診断は労働者の健康状態を把握し、その結果に基づき、医学的知見を踏まえて、労働者の健康管理を適切に講じることが重要です。健診結果の「要治療、要医療」等の判定に従い、早期に医療機関を受診することや、これまでの食習慣や運動習慣などを振り返り改善することで、脳梗塞や心疾患などの命に係わる生活習慣病を予防するだけでなく、皆さまの健康寿命の延伸につながっていきます。

貴社におかれましても、すでに取り組んでいたいただいているところかと存じますが、貴社の従業員において、健康診断の結果、医療機関の受診が必要と認められる方がいらっしゃる場合は、**事業主及びご担当者様からも医療機関の受診が必要な方に対して、医療機関を受診するよう、働きかけをお願い申し上げます。**

なお、全国健康保険協会では、健康診断後の特定保健指導（健康相談）により、健診結果を見ながら、検査数値の説明や改善方法などのご相談を承っております。お困りごと等ございましたら、ご相談いただくと幸いです。

敬具

## ▶ 同封チラシ（表）

機密性2  
～事業主及び担当者の皆さまへ～



『要治療』と判定された

健診結果は事業主に  
5年間の保管義務

まずは、従業員の健康診断結果から健康状態を確認すること！

労働安全衛生法に基づく「定期健康診断」は、事業主（＝事業主）が労働者に実施するもので、健康診断から定期健康診断の結果を受け取り、対象者に通知した後、その結果を5年間保管しなければなりません。（安衛法第66条、安衛則第51条の2）  
定期健康診断の結果、要治療と判定された従業員には医療機関を受診するよう促してください。

所見ありとなった場合は、産業医又は地域産業保健センターの活用を！

健診の結果、所見（要治療判定等）がある場合、事業主は健康を保持するための必要な措置について医師等の意見を聴かなければなりません。（安衛法第66条の4）  
事業場が産業医を選任している場合は、産業医に意見を聞くことが一般的ですが、産業医の選任義務がない50人未満の事業場は、地域産業保健センターにて「健康診断結果についての医師からの意見聴取」を無料で受けることができますので、お困りの場合は以下にお問合ください。

山口産業保健総合支援センター  
TEL：083-933-0105  
※各地域の「地域産業保健センター」に関することは、山口産業保健総合支援センターのホームページで確認ください。

● 所見（要治療判定等）がある場合の対応  
事業主（＝事業主）がやること  
・産業医、地域産業保健センター等を活用して、医師の意見を聴く（就業上の措置）  
・本人へ医療機関へ受診するよう促す  
・本人がやること  
・医療機関へ受診する

地域産業保健センターの紹介

事業所が行っている「医療機関への受診勧奨方法」の紹介

普段、事業所の皆さまと接している保健師が聞いた事業所が行っている「医療機関への受診勧奨方法」を紹介します。

あなたの事業所でも取り組んでみませんか？

医療機関への受診を勧める  
「休みがとりにくい」という声から、特別休暇を付与し、朝礼などで社長からの声掛け

事業所内で「休みがとりにくい」「せっかくの休みを受診に使いたくない」との意見があり、健診後の医療機関を受診することを目的に「特別休暇の付与」（＝勤務時間中に医療機関に行く）することとしました。  
加えて、「健診結果が出た頃に、朝礼などで社長から医療機関への受診を呼びかける」「要治療者を社長が個別面談して受診を勧める」などの取組を行いました。

結果 医療機関へ受診が必要な方の医療機関の受診率が大幅に上昇。

好事例の紹介

## 同封チラシ（裏）

好事例の紹介

機密性2

医療機関への受診を勧める  
取組②

領収書を提出してもらい、医療機関への受診費用を1回のみ会社が負担する。

健康宣言（※）を機に、会社として、二次検査を進めていくという意識に変わった。

健康宣言とは、事業所が健康づくりに取り組む内容を宣言するもの。この宣言内容の取組結果によって「やまぐち健康経営認定企業」として山口県の認定を受けられます。また、特に優良な企業は山口県知事表彰が贈られます。詳しくは協会けんぽ山口支部ホームページをご覧ください。（全国健康保険協会ホームページ「健康経営宣言」について）

医療機関への受診を勧める  
取組③

医療機関を受診したのか、担当者から受診を勧めて、報告を求める。

健康宣言（※）を機に、会社として、二次検査を進めていくという意識に変わった。

従業員の健診結果は会社が5年間保管するようになっているが、このことについて会社側が労働者に説明を受けた。このことで、健診結果を社員が目にすることになり、数値の悪い人が医療機関へ受診するようになり、健康意識が高まった。

健康宣言（※）を機に、会社として、二次検査を進めていくという意識に変わった。

人数が少ない事業所というところもあり、それまでは個人任せだったが、100%医療機関を受診するようになった。自然に朝食をきちんと食べるようになったり、ウォーターサーバーを設置したり、会社全体の健康意識が高まってきている。

保健師より

今回ご紹介した事例では、あるきっかけによって健康づくりの取組を一段落出していたことで、会社内の健康意識が高まったのだと思います。まずはできることから、一歩踏み出してみよう。

定期健康診断は会社が実施するもの！遠慮なくお声がけください！

表面に記載のとおり、定期健康診断はその結果を事業主が保管し、必要な事後措置を行わなければならない。時々、事業所の担当者様から「健診結果は個人情報なので適度で受診を促す声かけが難しい」といいます。ですが、定期健康診断は会社が行う健診ですので、遠慮せずにお声をかけをお願いします。

特定保健指導でも保健師、管理栄養士から受診の必要性を説明します！

メタボリックシンドロームに該当した「特定保健指導」の対象者に、この結果を事業主が保管し、必要な事後措置を行わなければならない。時々、事業所の担当者様から「健診結果は個人情報なので適度で受診を促す声かけが難しい」といいます。ですが、定期健康診断は会社が行う健診ですので、遠慮せずにお声をかけをお願いします。



○ コラボヘルスの推進

令和5年度 山口支部事業計画

具体的な取組

- ・健康宣言事業所拡大に向けた勧奨
- ・健康宣言事業所に対する取り組み、フォローアップの実施
- ・重点地区（宇部）を定めたコラボヘルスの推進
- ・中国税理士会山口県支部連合会と連携したコラボヘルスの推進

【KPI】

健康宣言事業所数を1,100事業所（※）以上とする  
（※）標準化された健康宣言の事業所数及び今後標準化された健康宣言への更新が見込まれる事業所数

<健康宣言事業所数> ※（ ）内は全国平均

| 平成30年度            | 令和元年度             | 令和2年度             | 令和3年度             | 令和4年度               | 令和5年度               |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 215社<br>(31,033社) | 352社<br>(44,959社) | 547社<br>(54,616社) | 960社<br>(68,992社) | 1,094社<br>(81,168社) | 1,218社<br>(81,526社) |

令和5年度 取組内容及び評価・課題

【取組内容】

- 健康宣言事業所拡大に向けた勧奨
  - ・支部保健指導者による保健指導実施時に訪問企業へのアプローチを実施した。
  - ・健診受診率や特定保健指導実施率等をグラフ等で見える化した「企業健康カルテ」を勧奨時に使用した。
- 健康宣言事業所に対する取り組みの実施
  - ・健康宣言事業所を対象としたフォローアップ講習会等オンライン講座（県主催）や支部保健指導者による出前講座の実施し、健康情報チラシの配付した。一等
  - ・山口県歯科医師会と連携した歯科健診を実施した。
- 関係団体と連携したコラボヘルスの推進
  - ・山口県立大学教授等による支部広報誌（いきいきつうしん）への連載記事を掲載した。
  - ・山口県中小企業団体中央会のホームページへ付加健診の対象年齢拡大等を含めた「健康づくり事業」における記事を掲載した。
  - ・県央7市町連携事業で健康経営セミナーの実施を支援し、やまぐち健康経営スタートアップセミナーで講演を実施した。（令和6年1月）
  - ・中国税理士会宇部支部研修会にて、健康づくり・保健事業の充実をテーマとした講演を実施した。（令和5年6月）

【評価・課題】

健康宣言事業所数におけるKPIは達成しているものの、登録宣言事業所数の伸びは鈍化しているため、事業所と支部保健指導者等による更なる企業アプローチを図り、新規宣言事業所の獲得に繋げる。併せて一層のコラボヘルス推進を図るため、宣言事業所のニーズに対応した新たな取り組みを検討する必要がある。また、事業所の健康経営推進に向けて、地域職域等の関係団体との更なる連携強化を図っていく。

令和6年度 取組内容

【取組内容】

- 健康宣言事業所拡大に向けた勧奨
  - ・宣言事業所獲得を目的とした支部保健指導者による電話・訪問勧奨の実施する。（新）
  - ・新規適用事業所に対する文書勧奨及び支部職員による電話勧奨の実施する。（新）
  - ・健診受診率や特定保健指導実施率等をグラフ等で見える化した「企業健康カルテ」を勧奨時に使用する。
- 健康宣言事業所に対する取り組みの実施
  - ・関係団体と連携したフォローアップ講習会や歯科健診事業、支部保健指導者による出前講座等の健康づくりに向けたサポートを実施する。
- 健康宣言事業所に対するアンケートの実施（新）
  - ・健康宣言事業所が必要とする健康づくりにおけるサポートやフォローアップのニーズを把握するためのアンケートを実施し、事業所の要望に応じた取り組みの強化及び健康づくりの更なる推進を図る。
- 関係団体と連携したコラボヘルスの推進
  - ・山口大学・県立大学名誉教授（医師）の支部広報誌への連載記事を通じて、健康教育の一助とし、ヘルスリテラシーの向上を図る。
  - ・運輸業・道路貨物運送業の業界3団体（全日本トラック協会、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー連合会）に対して健診・保健指導実施率向上に向けた協力依頼を実施する。
  - ・事業所の一層の健康経営推進のため、地域職域や生損保等の関係団体との更なる連携を強化する。

【KPI】

健康宣言事業所数を1,380事業所以上とする。

# コラボヘルスの推進（健康経営）

## 令和5年度事業実施状況

### 取組事例

#### ①健康宣言事業所向け企業健康カルテの提供

##### 〈概要〉

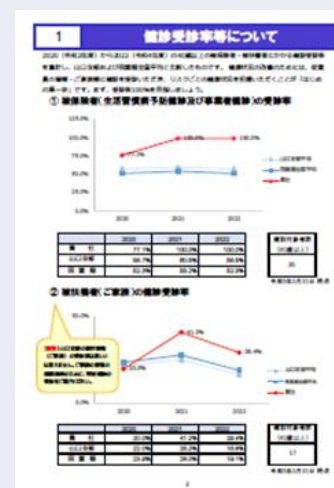
健康宣言事業所の健診受診率や特定保健指導実施率などを数値やグラフ等で見える化した「企業健康カルテ」について、未宣言事業所に対して宣言勧奨の際に提供。また、既宣言事業所に対しては、第一四半期に全宣言事業所へ提供し、事業所内の健康度を把握していただくことで、更なる健康づくりの推進につなげる。

##### 〈宣言事業所年度実績〉

| 年度    | 宣言事業所数 |
|-------|--------|
| 令和3年度 | 417社   |
| 令和4年度 | 154社   |
| 令和5年度 | 134社   |

##### 〈企業健康カルテ提供数〉

| 年度    | 提供事業所数 |
|-------|--------|
| 令和3年度 | 3,700社 |
| 令和4年度 | 2,952社 |
| 令和5年度 | 2,560社 |



## 令和6年度事業計画

「企業健康カルテ」を健康宣言事業所並びに勧奨事業所に対して提供することで、健康宣言事業所の増加を図るとともに、事業所における健康づくりを推進する。

# コラボヘルスの推進（健康経営）

## 令和5年度事業実施状況

### 取組事例

#### ②歯科健診事業

##### 〈概要〉

やまぐち健康経営企業認定制度に参加いただいている健康宣言事業所を対象として、山口支部より提供できるフォローアップメニューのひとつとして事業実施。

歯・口腔状態が全身へ及ぼす影響や歯科部門に関しての健康づくりに意識的になっていただき、定期的な予防歯科受診の推進手段として位置付けている。

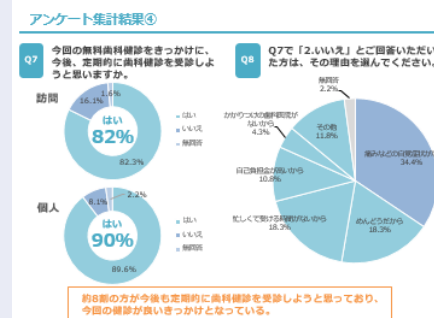
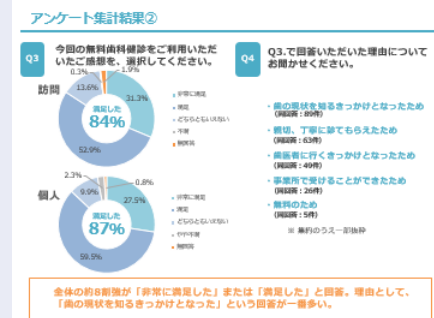
##### 〈利用実績〉

| 年度    | 利用事業所数<br>事業所訪問タイプ | 利用被保険者数<br>個人受診タイプ |
|-------|--------------------|--------------------|
| 令和3年度 | 6社                 | 126人               |
| 令和4年度 | 20社                | 136人               |
| 令和5年度 | 20社                | 133人               |

##### 〈効果検証・課題〉

利用事業所、被保険者に対するアンケート結果による内容検証

⇒アンケート結果(回答率80%)より、訪問型・個人型ともにおおむね9割近くの方に満足していただき、今後の定期歯科健診の受診に繋がりたいとの回答を得ていることから、予防歯科への推進手段として有効であると判断する。一方で、個人型については、定数を超える申込みはあるものの受診率が7割に満たない状況であり、受診率向上に向けた事業内容の改善が必要である。



## 令和6年度事業計画

通院型（個人受診タイプ）について、募集時期を上期と下期の2回に分けて受診期限を短く設定し、申込者の受診に対する意識づけを促すことで、受診率の向上を図る。また、令和5年度と同様、より多くの加入者に受診していただくため、前年度受診がある事業所、個人に対して制限をかけて実施する。

# ○ 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

## 令和5年度 山口支部事業計画

### 具体的な取組

- ・ 事業主や加入者に向けた定期的な情報発信
- ・ メールマガジンを活用した広報（定時・随時）及び登録者数の拡大
- ・ 山口県公式「やまぐち健幸アプリ」の普及推進による運動習慣等健康意識の向上
- ・ 山口県立大学と連携した健康情報提供によるヘルスリテラシーの向上
- ・ 支部加入者の医療費や健診結果の特徴及び対策等に関する情報の提供
- ・ 健康保険委員への情報提供やセミナー等の実施及び委嘱者数の拡大

### 【KPI】

全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を65.0%以上とする

＜健康保険委員委嘱事業所の被保険者数割合＞※（ ）内は全国平均

| 平成30年度           | 令和元年度            | 令和2年度            | 令和3年度            | 令和4年度            | 令和5年度            |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 50.1%<br>(39.5%) | 53.3%<br>(42.3%) | 57.8%<br>(45.2%) | 61.8%<br>(47.6%) | 65.2%<br>(50.8%) | 65.7%<br>(52.6%) |

## 令和5年度 取組内容

### 【取組内容】

#### （1）広報関係

- ・ 社会保険料納入告知書に同封する事業主・事務担当者に向けた「いきいきつつしん」、健康保険委員に向けた「健康保険委員だより」、加入者に向けたメールマガジン等で時期に応じた情報を定期的に発信した。
- ・ 加入者の運動習慣等健康意識の向上を図るため、「いきいきつつしん」及びメールマガジン等に山口県公式「やまぐち健幸アプリ」の記事を掲載し、普及推進を実施した。
- ・ 山口県立大学と連携し、減塩レシピや睡眠に関するコラム等の健康情報を「いきいきつつしん」にて連載で7回発信した。

#### （2）健康保険委員関係

- ・ 令和5年11月に「令和5年度年金委員・健康保険委員功労者表彰式及び研修会」を開催し、17名の健康保険委員を表彰した。併せて研修会も同時に実施し、加入者が申請する健康保険給付金や健康宣言事業等について情報発信した。
- ・ 健康保険委員委嘱事業所における被保険者数割合の向上及びメールマガジンの登録者の拡大を図るため、加入者が多い事業所を中心に、健康保険委員の登録勧奨を1,200件実施した。
- ・ また、健康宣言の文書勧奨及び保健師による訪問・電話勧奨と併せて健康保険委員の登録勧奨を行うことで、健康保険委員の委嘱拡大を図った。  
令和4年度末 3,872件 / 令和5年度末 4,161件（344件増、55件減）

#### ● いきいきつつしん 令和5年9月号



#### ● いきいきつつしん 令和6年3月号



#### ● 健康保険委員だより 令和6年1月号



#### ● 健康保険委員登録勧奨リーフレット





## 令和5年度 取組の評価・課題

### 【評価・課題】

#### (1) 広報関係

- ・ 社会保険料納入告知書に同封する「いきいきつつしん」を令和5年4月から令和6年3月まで毎月発行し、8月号から3月号まで山口県立大学と連携することで健康情報を掲載し、ヘルスリテラシーの向上を図った。
- ・ 協会けんぽが発信する情報として、健診や特定保健指導等の健康づくり制度の情報、健康保険給付金等の健康保険制度の情報、加入者の健康維持・向上につながるような健康情報の発信が必要であり、今後も更に加入者及び事業主目線に立った分かりやすい広報に努める。

#### (2) 健康保険委員関係

- ・ 健康保険委員の登録勧奨計を画的に取り組むことで、KPIを達成することができた。
- ・ 令和6年度は従来のKPIに加えて、健康保険委員の委嘱事業所数の向上もKPIとして追加される。被保険者数が10人未満である健康保険委員の委嘱事業所割合をみると8.08%と低いため、加入者数の多い事業所から少ない事業所まで幅広く勧奨する。
- ・ また、健康保険委員の活動をサポートするため、「健康保険委員だより」や研修会等による情報提供を引き続き行う。

#### (参考) 健康保険委員の主な活動内容

- 広報
  - ・ 自社の事業主及び加入者に対して、健康保険事業に関する事業を伝える。
- 相談
  - ・ 各種申請書等について、加入者の皆さまからの相談に応じる。
- 各種事業の推進
  - ・ 自社の事業主や加入者に対して、健康づくり等の啓発を行う。

#### (参考) 健康保険委員委嘱事業所数の推移

| 年度           | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 健康保険委員委嘱事業所数 | 2,772社 | 3,462社 | 3,780社 | 4,038社 |

## 令和6年度 取組内容

### 【取組内容】

#### (1) 広報関係

- ・ 加入者及び事業主目線に立った分かりやすい広報を図るため、有識者や関係団体と連携しつつ、健康情報提供によるヘルスリテラシーの向上を図る。
- ・ 山口支部の重点広報テーマである「健康づくりサイクルの定着」「付加健診の対象者拡大を含めた更なる保健事業の充実」「コラボヘルス」「ジェネリック医薬品の使用促進を含めた医療費の適正化」等について、事業主・加入者に直接伝わるよう、WEBやLINEを活用した広報を実施する。
- ・ 山口県公式「やまぐち健幸アプリ」の普及推進による運動習慣等健康意識を向上する。
- ・ 支部加入者の医療費や健診結果の特徴として、高血圧のリスク保有率が高いことから、高血圧予防に関する健康情報や対策等を発信する。

#### (2) 健康保険委員関係

- ・ 健康保険委員の活動をサポートするため、「健康保険委員だより」を引き続き年3回発行する。なお、令和6年度は加入者及び事業主目線に立った分かりやすい広報を行うため、健診や特定保健指導といった健康情報や、マイナ保険証の利用促進に関する情報等、テーマを定めて情報発信する。
- ・ 加えて、秋から冬にかけて、協会けんぽの事業をまとめた加入者向けの「協会けんぽGUIDE BOOK」を健康保険委員に配付し更なるサポートを図る。
- ・ 健康保険委員功労者表彰式に併せてセミナー等の実施を検討する。
- ・ 健康保険委員の更なる委嘱拡大を図るため、健康保険委員の登録勧奨及び健康宣言の勧奨と併せた健康保険委員の登録勧奨を拡大して実施する。

### 【KPI】

- ① 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を67.0%以上とする
- ② 健康保険委員の委嘱事業所数を前年度以上とする



○ ジェネリック医薬品の使用促進

令和5年度 山口支部事業計画

具体的な取組

- (1) 薬剤師会・県等と連携した取組
  - ・山口県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会への参画及び意見発信
  - ・情報提供ツールを活用した使用促進に資する取組の実施
  - ・本部提供リストを活用した定期的な統計分析
- (2) 加入者にダイレクトでアプローチする取組
  - ・自己負担軽減額通知の実施
  - ・加入者に対する広報等を通じた使用促進

【KPI】  
ジェネリック医薬品使用割合（※）を年度末時点で対前年度以上とする  
（※）医科、DPC、歯科、調剤

<ジェネリック医薬品使用割合の推移（年度末時点）> ※（ ）内は全国平均

| 平成30年度           | 令和元年度            | 令和2年度            | 令和3年度            | 令和4年度            | 令和5年度            |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 77.0%<br>(75.9%) | 79.9%<br>(78.7%) | 82.2%<br>(80.4%) | 82.1%<br>(80.4%) | 83.6%<br>(81.7%) | 85.4%<br>(83.6%) |

令和5年度 取組内容及び評価・課題

【取組内容】

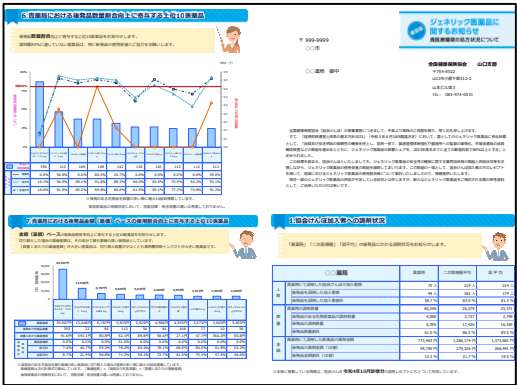
- (1) 薬剤師会・県等と連携した取組
  - ・山口県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会に委員として参画しているが、令和5年度は開催されなかった。
  - ・県薬剤師と連名で、薬局、医療機関に対して自機関の使用割合が一目で把握できる「ジェネリック医薬品のお知らせ～貴医療機関の処方状況について～」を院内版268件、院外版717件、薬局696件を送付し、使用促進を図った。
  - ・調剤薬局リストを活用し、県内各地域のジェネリック医薬品使用割合等に係る統計資料を作成し関係団体と情報共有を図った。
- (2) 加入者にダイレクトでアプローチする取組
  - ・ジェネリック医薬品に切り替えた場合に一定額以上の負担軽減が見込まれる方へジェネリック医薬品軽減額通知を送付した。  
R5.8（1回目）：発送件数27,641件 切替率32.2%（8,818件） / R6.2（2回目）：17,581件 効果測定中
  - ・県薬剤師会及び山口県内19市町と連携して、若年者に対するジェネリック医薬品使用啓発チラシを配付し使用促進を図った。

【評価・課題】

- ・関係団体とも連携し、使用割合の更なる向上を図ることできた。
- ・令和6年度からは国全体の目標である数量ベース80%とは別に、金額ベース50%以上という副次目標が掲げられたことを受けて、金額ベースの向上に取り組んでいく必要がある。

参考

一薬局版～ジェネリック医薬品のお知らせ～  
～貴医療機関の処方状況について～



参考

若年者に対する使用啓発チラシ



令和6年度 取組内容

【取組内容】

- ・現在の使用割合を向上できるように使用促進に取り組むとともに、新たな金額ベースの使用割合に関する現状分析を行う。
- ・医療機関や地域ごとに策定する医薬品の使用指針であるフォーミュラリやバイオシミラーについて、県や関係団体と情報交換し連携事業の検討を行う。

【KPI】

ジェネリック医薬品使用割合（※）を年度末時点で対前年度以上とする  
（※）医科、DPC、歯科、調剤レセプトを対象とする